

# 夏秋期のイチゴ栽培における農薬節減 栽培技術体系

園芸環境部 虫害チーム TEL:022-383-8125

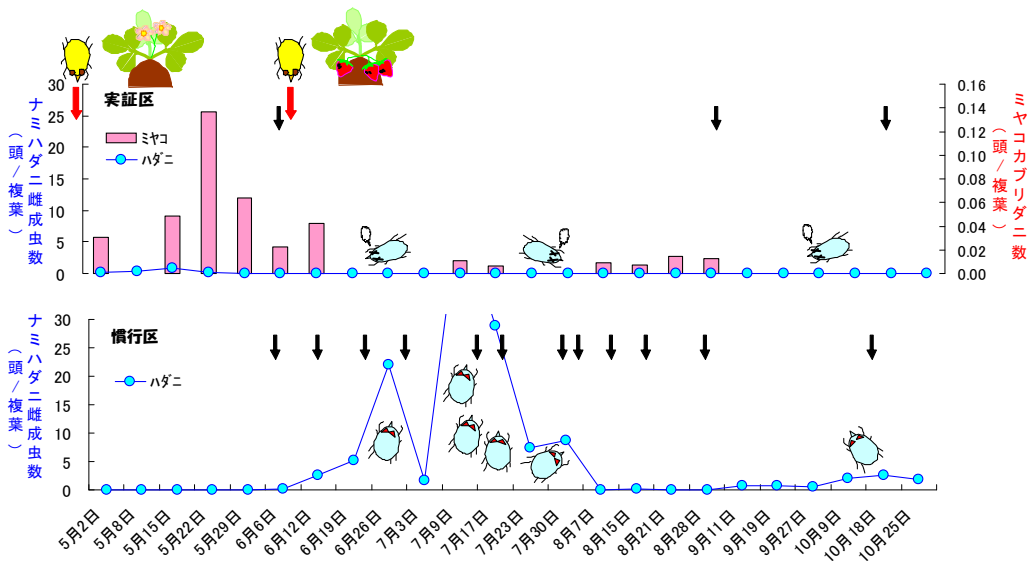
## 研究の目的

夏秋期のイチゴ栽培では、ハダニやアザミウマなどの被害が甚大となります。これらの害虫に対して、天敵や物理的防除資材といった農薬代替技術を組み合わせた防除体系を組み立てました。

## 研究成果

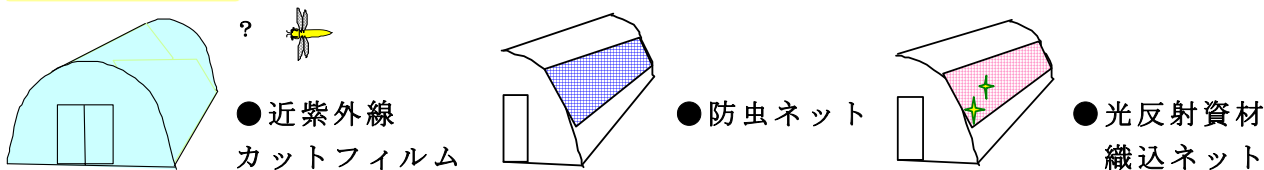
**ハダニ対策**：天敵ミヤコカブリダニを利用します。

開花時を目安に、6,000頭/10aを株の上から放飼します。ハダニが本格的に発生する前に、天敵を圃場に定着させることで、ハダニの発生を長期間抑えることができます。



\* 上図：実験区 下図：慣行区  
 : ミヤコカブリダニ : ナミハダニ (↓は殺ダニ剤散布を示す。)

**アザミウマ対策**：物理的防除資材を利用します。



近紫外線域の光を吸収するフィルムをハウスに展張すると、害虫はハウスの中の様子が分からなくなり、飛び込みを抑制することができます。また、防虫ネットや光反射資材を織り込んだネットをハウス側部の開口部に展張することも有効です。

## 普及等の見込

イチゴのハダニやアザミウマは薬剤抵抗性の発達が著しく難防除害虫とされています。そのため、薬剤以外の防除手段に対する関心や要望は非常に高く、本技術体系の普及拡大が期待されています。

宮城県  
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高舘川上字東金剛寺1番地  
 TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)  
 ホームページ: [http://www.pref.miyagi.jp/res\\_center/](http://www.pref.miyagi.jp/res_center/)  
 E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)